

令和3年度 第3回 男女平等推進市民会議 会議要録

日 時：令和3年10月4日（月）18:30～20:00

場 所：701会議室

参加者：名取 はにわ会長・本田 純副会長・林 恭子委員・澤田 さなえ委員・有賀 千歳委員・岩崎 明子委員・山本 桂子委員・功 刀 隆委員・山下 一美委員

事務局：市民部長・生活文化課長・男女共同参画係員

○議題

- ・議題（1）進捗状況評価に係る担当課との意見交換について

～障害福祉課、子育て支援課との意見交換を実施～

- ・議題（2）東久留米市第3次男女平等推進プランの進捗状況評価について（令和2年度事業）

事務局：先ほどの意見交換を受けて、障害福祉課（通し番号57）と子育て支援課（通し番号65）について講評、提言及び評価についてご意見を伺いたい。

会長：まず障害福祉課については、評価はオール B となっているが担当グループではどうか。

委員：意見交換で様子については分かったが、Aは厳しいかと思う。

会長：ではオール B ということにしたい。続いて子育て支援課についてはどうか。評価はオール B となっている。

委員：今のお話を伺ってもなかなか難しいと思う。あまりそこまで男女混合名簿にしなければいけないということに気づいてないとか。その辺を差し引きすると、Bでよいのではないかと思う。

会長：では、こちらもオール B ということにしたい。では、続いて、答申文（案）について事務局より説明を。

事務局：素案について委員の皆様からご意見を反映させたものが資料3-1となっている。資料3-2は修正箇所を見え消したものである。構成について資料3-1をもとに説明したい。構成については、前年度と同様となる。「1 はじめに」「2 評価方法について」については、前回とほぼ同じ内容の記載となる。「3 意見交換について」は、意見交換を経て追記することがある場合には内容を確認していただきたい。「4 令和2年度事業について」の（1）では、取組の推進が困難な事業への対応や数値目標の明確化などを記載している。（2）では、表彰について述べており、産業政策課、生活文化課、介護福祉課、健康課、児童青少年課、指導室の6課が対象となる。「5 今後に向けて」では、「コロナ下の女性への影響と課題に関する研究会」の報告書を引用し、コロナ禍の女性・

女の子の現状と課題を取り上げている。また、「4」の課題への提言として、数値目標の明確化、市の女性管理職の登用、審議会等委員、特に防災会議に占める女性比率について記載している。

会長：それでは、意見交換を実施して、追記すべき内容などご意見があれば伺いたい。

委員：せっかくなので、どのような内容の意見交換が行われたかを書いた方がよいのではないか。

会長：意見交換にあたり、意見交換シートを使用したが、その内容を記載すればよいのではないか。

事務局：それでは、意見交換シートの内容を踏まえて記載したい。

会長：机上配布させて頂いた資料にもあるように、東京都の男女平等参画審議議会において、すべての審議会の男女比を4割から6割の間にしようとする中間答申が公表され、これを受けて、東京都では来年の3月に計画を改訂する予定である。男女共同参画基本法には、市は国と東京都の計画を勘案して計画を作ることになっているので、市でもこれらに合わせた計画を作ることになると思う。非常に画期的なことである。東久留米市は審議会の女性比率が低く全市の取り組みとなっていないところが問題である。このクオータ制が実現すると、その通り見本にしてやらざるを得ないということになるので、ぜひこの動向は答申に書いてもよいのではないかと思っている。市でもこの動向を勘案しながら審議会の女性比率を高めて欲しいということを明記して欲しい。この他に意見のある方はいつまでに出せばよろしいか。

事務局：10月6日までをお願いしたい。

委員：全体的な感想だが、原案と比べて、修正や加筆を経て分かりやすくなったと思う。またこれは意見だが、「5 今後に向けて」のところで「女性や女の子への影響」について、もう少し具体的にどのような影響があったのか記載した方がよいのではないかと思うのが一点と、「女の子」の年齢層が分かりにくかったというのがもう一点である。

会長：影響については、下線部分の「非正規女性の離職が増加し、特にシングルマザーの生活が追い詰められていること、また、DVや専業主婦・女子高校生の自殺が増加していることを明らかにしました。」というところにかかっている。内閣府男女共同参画局長の私的諮問機関である「コロナ下の女性への影響と課題に関する研究会」がかなり精緻な分析を行っており、それをここに抜粋している。「女の子」という言葉については、たしかに「女性」と「女の子」が並んでいるところは違和感があるが、そこは「女性への影響」としてよいか。

事務局：それでは、「5 今後に向けて」の上から2行目のところを「女性と女の子への影響」を「女性への影響」としたい。

委員：意見交換のところで、私立幼稚園についてはとても興味深く聞かせてもらった。なかなかこちらの考えを通すのも難しいと思うが、市内で保育園と幼稚園と

が共存しており、その子どもたちが小学校に上がって一緒になるので、保育園からの子も幼稚園からの子も同じ方向で迎えるようにしていきたいと思った。

会 長：その他について事務局より説明を。

事 務 局：まず、アンケート調査について事務局より進捗状況を説明したい。期間については、9月13日から10月15日まで実施している。内容については、第2回男女平等市民会議の後に、男女共同参画推進協議会において意見聴取を行っている。10月1日時点で約500名の方から回答をいただいている。前回のアンケート調査では574名であった。続いて、「ときめき66号」について、特集は「with コロナ時代の妊娠・出産・育児」で、コロナ禍で孤立しがちな妊婦、母親に向け、利用できる施設やサポート、相談先などを掲載した。最後に今後のスケジュールについて説明したい。10月12日に第4回市民会議を予定しており、本日もご意見いただいた内容をもとに作成された答申文の最終案をご確認頂くことになっている。10月20日には答申を予定しているが、市民会議を代表して名取会長と本田副会長にご出席いただくことになっている。

○次回会議（10月12日）